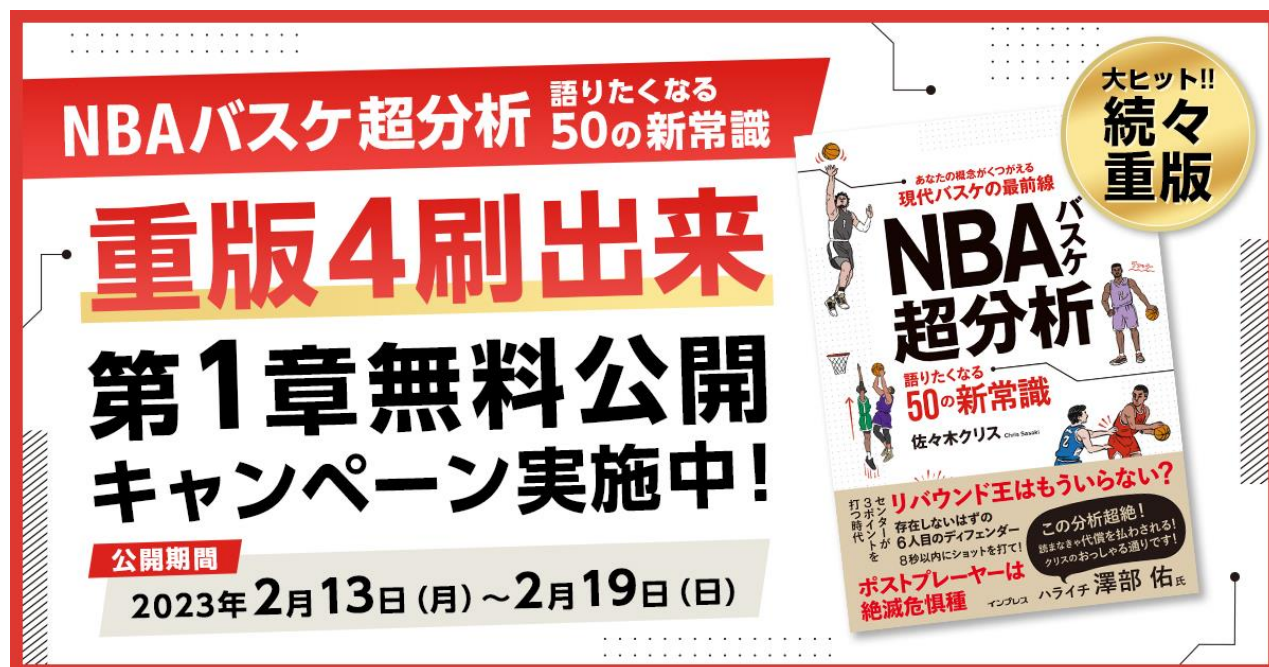


各 位

2023年2月13日
株式会社インプレス

いよいよ4刷決定！
『NBA バスケット超分析 語りたくなる50の新常識』の重版出来を記念して、
7日間限定で第1章を無料公開！

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、書籍『NBAバスケット超分析 語りたくなる50の新常識』の重版出来を記念して、2023年2月13日（月）～2023年2月19日（日）の間、本書の第1章を無料公開するキャンペーンを実施します。



The banner features a red and white color scheme. At the top left, it says 'NBAバスケット超分析 語りたくなる50の新常識'. Below this, in large, bold, red and black text, it reads '重版4刷出来 第1章無料公開 キャンペーン実施中!'. A yellow box on the right says '大ヒット!! 続々重版'. The book cover is shown on the right, with text like 'あなたの概念がくつがえる 現代バスケの最前線' and 'リバウンド王はもういない?'. The campaign period is listed as '公開期間 2023年2月13日(月)～2月19日(日)'.

<第1章無料公開キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/nba>

期間：2023年2月13日（月）00時00分～2023年2月19日（日）23時59分まで

■発売4ヶ月で4刷決定！ 重版出来を記念して第1章無料公開キャンペーンを実施！

『NBAバスケット超分析 語りたくなる50の新常識』は、NBAで展開されているプレーや戦術を深掘りし、それらを元にバスケの新常識を50項目解説した書籍です。ショットの成功率やリバウンドの獲得数といった実際の過去データに基づいた詳細な分析と、図やイラストを豊富に掲載しながら解説しているのが特徴です。

本書は2022年9月26日の発売以来、オンライン書店でのランキング上位にランクインしたり、各メディアで取り上げられたりするなど、各所で好評を得て早くも4刷が決定しました。そこで今回の重版を記念して本書の第1章「攻撃の高速化と3ポイントの躍進が開いた新時代の扉」を7日間限定で無料公開します。

<第1章無料公開キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/nba>

期間：2023年2月13日（月）00時00分～2023年2月19日（日）23時59分まで

■紙面の閲覧には「インプレスWebブックビューアー」を使用

The screenshot shows a digital book page with the following content:

- NO. 01 ビッグバン! 「3ポイントは水もの」はもう古い?**
- 歴代最高のシューターから見る3ポイントショット数の上昇**
- Text: 史上最高のシュート力を誇るガードコンビ、ステフェン・カリーとクレイトン・ポンス。2人が決めるショットの数々は水しぶきのようにネットが跳ね上がって吸い込まれていくことから「スプラッシュブザーズ」の愛称で親しまれ、2015年から2022年までの8年間で4度の王座を獲得した。中でも名実ともにNBAの顔の1人であるカリーはニューヨーク現地時間の2021年12月14日、それまでの3ポイント累計成功記録2973本を抜き去り、新記録を樹立。2022年5月現在3117本まで伸ばしている。
- カリー：789試合終了時点で2977本**
アレン：引退した1300試合までに2973本
- Text: しかし、驚きなはその本数だけではない。記録が更新されるまでトップに君臨したレイ・アレンが1300試合に出場して達成したのに対して、カリーは789試合しか必要としなかったのだ。
- Text: そんな史上最高のシューター、カリー。実は彼の能力ならもっと早く記録を塗り替えられた可能性もある。NBAデビューから13シーズンプレーしてきたが、1試合あたりに放つ3ポイントの数はキャリアを重ねるとともに圧倒的に増加したのだ。彼ほどのシューターでありながらシーズンを通じて1試合あたり5本以上放つようになったのは、デビューから4シーズン目、1試合あたり10本を初めて超えたのはキャリア7年目の2015-16シーズンで、逆にバスケットボール選手として運動能力のピークを迎える目安の30歳を超え、33歳になった2022年現在で12本近く放つ。
- 図表1-1** カリーの1試合あたりのシーズン別3ポイント試投数

シーズン	3ポイント平均試投数
2009-10	4.3
2010-11	4.6
2011-12	4.7
2012-13	7.7
2013-14	7.9
2014-15	8.1
2015-16	11.2
2016-17	10.0
2017-18	9.8
2018-19	11.7
2019-20	9.8
2020-21	12.7
2021-22	11.7

- Text: この事実はNBA、そしてバスケットボール界全体が3ポイントショットの持つ魔力に気づいたことと関連がある。NBAにおける3ポイントショットの過去25シーズンに渡る推移は図表1-2の通り。
- 図表1-2** 過去25シーズンの1試合あたりの3ポイント試投数と成功率(リーグ全体の平均)

シーズン	3ポイント試投数	3ポイント成功率
97	10.0	20.0%
00	10.0	20.0%
03	10.0	20.0%
06	10.0	20.0%
09	10.0	20.0%
12	10.0	20.0%
15	10.0	20.0%
18	10.0	20.0%
21	10.0	20.0%
22	12.7	35.2%

書籍の内容はWebブラウザで閲覧できます

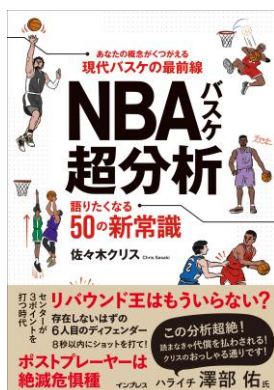
書籍内容の提供には、自社開発の「インプレスWebブックビューアー」を使用します。Webブラウザで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずにPCやスマートフォンなどから登録不要で利用できます。また、SNSで書籍の情報を共有したり、書籍の詳細を確認したりできる機能も備えています。

キャンペーンの詳細は、下記のキャンペーン特設ページでご確認ください。

<第1章無料公開キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/nba>

■書籍情報



NBA バスケ超分析 語りたくなる 50 の新常識

著者：佐々木クリス

発売日：2022年9月26日（月）

判型：A5判

ページ数：264ページ

定価：2,090円（本体1,900円＋税10%）

電子版価格：2,090円（本体1,900円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01525-3

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1121101109>

◇楽天ブックスの書籍情報ページ：<https://books.rakuten.co.jp/rb/17228334/>

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295015253/>

■本書の構成

CHAPTER1

攻撃の高速化と3ポイントの躍進が開いた新時代の扉

CHAPTER2

変わるディフェンスの仕組み。深まるNBAの攻防

CHAPTER3

バスケスタイルの進化によって覆されるプレーヤー像

CHAPTER4

革新的タクティクス。駆け引きと戦術の最前線

■著者プロフィール



佐々木クリス

ニューヨーク出身。NBA が選ぶアジアのインフルエンサーの一人。14歳の時に観た NBA のプレーに魅了されバスケットボールを始める。2010年に有限会社ボイスワークスに所属し、NBA 解説者を目指す。コラム執筆、中継での同時通訳等を経て 2013年に WOWOW で解説者としてデビュー。NBA ファイナルの現地取材、選手へのインタビュー経験も豊富。国内の B.LEAGUE でも公認アナリストとして解説を務め、各メディアで活躍中。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「DIGITAL X」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。